第9回CREST会合議事録　１０：００－１３：００　＠生研An405

参加者：沖、末木、芳村、Eun-Chul、沖（一）、佐谷、守利、横尾

議題：

* 各メンバー報告
	+ 守利：流域水質シミュレータ開発の進捗
		- （小滝川砂防堰における再現計算）
		- 大堀川における土砂動態モデルの構築及び検証
			* 下流（手賀沼）データとの比較（検証）が必要ではないか
			* 金町との関係性は？
		- 草木ダムにおける土砂動態モデルの構築
			* 仮想的なCs137流出
			* モデルに時間的なタグはつけられるか→つけられる。
			* 色んな場所の適用はどの程度容易か
	+ 芳村：大気拡散トレーサーモデル開発の進捗
		- 大原（環境研）との差別化が必要
	+ 末木：
		- 長半減期129Iによる131Iの環境動態
			* セシウムは良いが、ヨウ素は水溶性なので、考慮が必要（守利モデルへ）
			* 濃度が高いところでは、相関が良い（福島近辺数10kmくらいなら再現可能）
			* 2号炉の129I/131I比と近い値。（一番放出量が多いのも2号炉なので、Reasonable）
			* 新ゲルマは国際入札。来年度に購入する手続きを進めている。
		- 都市部における放射性CsとIの移行調査
			* 2Lの試料を用いることによって10%程度の誤差
			* 大堀川からGlobal Falloutとほぼ同じ組成が出てきた。
			* ミキシングの指標になる？？
			* 大堀川底質サンプリング（乾燥後測定版）
				+ 上流では、きれいに堆積している？？
			* SS測定では、試料が少なすぎる。現地サンプリングを2Lから8Lに。現場での濾過も考えてよいかも。
			* 大田さん（現北大工元京大原子炉）が手賀沼・大堀川近辺でサンプリングしている。→次回お招きする。
	+ 村上：進捗報告
		- 大堀川調査
			* 長期観測
			* 起源解析：観測開始前の状況の推定に役立つ？
			* 2012年5月11日サンプラー設置
				+ 濁度測定に不具合？
		- 福島・蓬莱ダム調査
		- 採る場所による違いを、一度真面目にチェックすべき。
	+ 横尾：土砂動態の把握に向けた河川流量の成分分離
		- SS把握が必要→濁度測定→流出量測定（→下水汚泥）
		- 流量を用いたフィルター法と濁度と電導度を用いたエンドメンバー法の比較
		- 下水処理場での放射性物質量調査結果とつなげたい
* 日本水道新聞・水道産業新聞への掲載記事作成（9/7）
	+ 沖が対応。<http://www.water.jst.go.jp/project/h23-index.html#post-1460>を元に膨らませる。
* 次回会合予定・議題
	+ 第一：11月19日（月）10：30～本郷
	+ 第二：11月19日（月）午後
	+ 第三：11月21日（水）10：00～
	+ 大田さんやほかの方々の参加可能性を鑑みて日程調整→末木・芳村